



市一番の長寿おばあちゃん



▶ひ孫の美智子さん・愛犬のコロと



藤原フキさん

九月十五日は敬老の日。市で一番の長寿は百二歳、明治三十(二八九七)年三月十四日生まれ藤原フキさん(西笠巻新田二)でした。

とても健康な藤原さん。困ることは耳が少し遠いことと、転ぶと危険なため、家の外に出られないことくらい。肉でも野菜でもなんでもおいしく食べることが出来ます。毎朝七時ごろ起きるなど生活は規則正しく、テレビの時代劇を見ることが大好きです。

三年前、平山県知事が長寿を祝ってお宅を訪ねたことは、藤原さんの大切な思い出。知事は藤原さんがすたすたと歩く様子に驚いていたそうです。「本当にこんげ長生きすると思わねかった」と藤原さんは笑います。

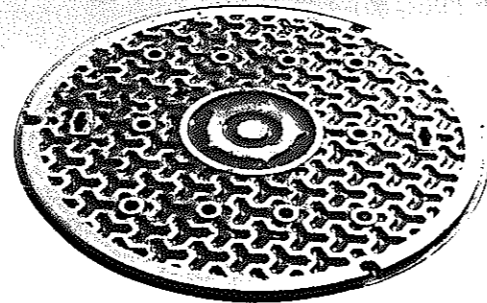
「大きな病気をしたことは一回もないと思いますが、おとし転んで肩の骨を折りました。病院の先生は『高齢なので治らないだろう』と言っておられました。三週間で治り、先生を驚かせました。骨からして若いんだそうです」と話す息子の哲男さん。

四人の子、十一人の孫、十人のひ孫、二人のやしやごたちに囲まれて、幸せそうな藤原さん。いつまでも長生きしてくださいね。

※資源保護のため再生紙を使用しています。※紙上の記事・写真の無断転用を禁じます。

下水道工事の

進ちよく状況



市内のサークル・団体を紹介vol.2
市政クリップ(九月定例市議会)
もうすぐ始まる介護保険
まちの話
お知らせ
みんなのページ
シリーズ・人

▶数字で見る市勢 ※9月1日現在 ※()内は前月比

人口	40,629人(+51人)
男	19,870人(+27人)
女	20,759人(+24人)
世帯	10,792世帯(+27世帯)
出生	45人
死亡	27人
8月中の 転入	109人
転出	75人

編集ルーム

◎ついに40歳になりました。気持ちは若かったころと変わらないのですが、体はそうはいきません。必死に走ってもなかなか足が前へ出てこない。体を動かした後の息切れ。野球やバスケットボールなどをやっていますが、体力の衰えと腹の出っ張りを痛切に感じています。◎そしてとどめは筋肉痛。忘れたころにやってくる痛みは、見覚えのない罪を償っているような感じ。 (ま)

古木老木の伝承

～ふるさとの木々～
ル・レクチェ

明治三十五(一九〇二)年、旧茨曾根村の小池左右吉さん(現東萱場)はウラジオストクを訪れ、高値で取引されていた西洋ナシに注目します。翌年、小池さんはル・レクチェを含む三十数種の西洋ナシの苗をフランスから輸入。日本での栽培に着手しました。ル・レクチェは一八八二年にフランスロアル地方で生まれましたが、風に弱くて実を結びにくい、実が落下しやすいなど栽培が難しく、現在原産地での商業栽培は消滅している種です。白根でもその栽培は苦難なものでした。しかしそのおいしさは好評を博し、栽培技術の向上と共に栽培面積は増加。

ル・レクチェは苗を植えてから実がなるまでに約八年掛かります。収穫は十一月の後半から。青く固い時期に収穫し冷蔵庫で一カ月ほど寝かせると、化学物質が変化してあの独特の甘味と風味が出来上がるのだそうです。現在小池さんの畑には、日本に初めてル・レクチェを伝えた業績をたたえた顕彰碑が建てられ、ル・レクチェの古木が今も実をつけています。

